

図書館だより

1982. 3. 31 第 12 号

社会福祉学部図書室の発足に当って

庄谷 怜子

今度大阪府立大学の一学部としてスタートする社会福祉学部図書室からの御挨拶と図書室の紹介をさせていただきますことにいたします。

〈図書室の特色〉

大学における社会福祉の教育、研究は戦後急に発展することになり、そのための文献・資料の蓄積はどここの大学にもなく、自力で収集するしかありませんでした。しかも社会福祉文献の出版そのものが戦後に始まったような状況で、今日のように「福祉もの」が盛況を呈し、書店の一角を占拠するようなこともなく、そのため短大創設当初の教員や図書館司書の方々は一方ならぬ努力をされ、関係者の御遺族から蔵書を譲り受けられたり、関係機関の倉庫を探しまわり、寄贈をお願いしたりの苦勞をされたようです。今日までに、短大図書館が故人から譲り受けた文献は次のようなものです。昭和27年から29年にかけての大山哲雄氏の寄贈になるものは分散収納されていますが、昭和35年の「川口文庫」(川口義明氏＝元兵庫県労働研究所長)は「労使関係論」を中心に約1207点、同35年の「木村文庫」(木村友三郎氏＝元神戸大学法学部教授)は「労働法」中心に約1326点、昭和36年の「南條文庫」(南條茂氏＝元大阪府西野田第1方面書記)は「社会事業」中心に約300点、および昭和39年の「長尾文書」等、以上は「文庫」扱いでまとめて保管されています。これらはいずれも貴重な文献ですが、ここでは「長尾文書」について紹介したいと思います。

「長尾文庫」は短大名誉教授堂面秋芳先生が兵庫県労働運動史編纂を行われた関係で、社会運動・労働運動の戦前資料のうち、全日本海員組合の機関紙編集に携っておられた長尾桃郎氏所蔵の文献資料を短大に譲り受けて下さったものです。この文書の内容は大正末期から昭和10年頃にわたる社会・労働の両運動に関する文献、調査報告、新聞スクラップ、労働関係通信、無産政党・労働組合などの機関紙およびピラその他印刷物など合計2000点で、その特色の一つは左翼諸団体による発禁出版物にあり、もう一つは労働組合などによる各種文書(ピラ、ポスター、機関紙)に大別されるものであります。「長尾文書」については短大機関誌『社会問題研究』14巻3号(1964.8)に堂面教授の紹介があり、「戦前の言語に絶する苛烈な弾圧、取締のもとで、当局の目をかすめでの資料の収集・保存は困難をきわめた」とのべられています。「長尾文書」は関係分野の研究者から貴重な社会的財産として高く評価されており、

学外からも度々訪問利用されています。労働組合における文書保存は戦後も必ずしも第一義的な関心をもたれているとはいい難く、なかでも戦災によって、また戦後の混乱の中で、貴重な資料が散佚、消滅したことも多いことを考えると、堂面教授も述べられているように、このような人民の抵抗を綴る資料は歴史遺産としての重みをもっています。「長尾文書」は図書館の2本の保管庫に収納されていますが、一片一片のピラの分類や、裏打ち等の保存方法を含めて慎重に取扱われています。

なお戦前の社会事業資料は厚生行政関係資料として存在している場合が多く、創設当時の研究スタッフは各都市自治体の関係部局等をまわられて、古い公文書類から社会事業史や厚生事業関係資料を熱心に発掘、収集されたということです。著名な大阪市社会部資料の一部がそのようにして収録されています。また、法政大学大原社会問題研究所の資料は大阪では府立夕陽丘図書館に収録されていますが、おそらくその週辺ないし重複部分が短大図書館に若干量保存されているのも、こうした資料収集活動の一端にかかわることかもしれません。これについては大原社研の主力資料とも関連づけて早く整理しなければならないのですが、なお未整理の部分が少なくありません。

これまでみたような戦前から戦後前半期の貴重な資料の外に、戦後急速に発展したわが国の社会保障社会福祉関係文献はほぼ系統的に収録されており、戦後30年の短大図書館の努力によって、社会保障、社会福祉等の専門文献の整備・充実において、西日本で一定の役割を果せるようになっていきます。学部図書館のこれからの課題は、(1)国際的な学会動向をふまえて、外国文献の充実、(2)社会福祉の専門的図書館としての独自分類の検討、(3)開架式の導入、(4)公開方法の検討ならびに、(5)前述の貴重な未整理文献の整理などであろうと私は考えています。

〈資料室について〉

つぎに、短大図書館には昭和30年頃から資料室が附設されています。戦前から戦後にかけての激しい社会変動と戦後社会の解放的な雰囲気と占領軍の民主化政策のもとで、労働組合が簇生し、地方自治体も労働研究所、産業研究所、農業研究所等を育成し、精力的な調査・研究が行われました。当時こうした研究所には資料室が設けられることが多く、大学等の研究機関にも資料室をつくることが一種の風潮であったと堂面教授も述べられています。賃金問題や労働者状態についての調査・研究の成果が蓄積され、相互に交換され、収集されて利用される、こうした資料活動は当時全国の大学にも波及しています。短大の現服部学長の御努力で、そのような流れの一環として社大にも資料室が設置され、当時兵庫県労働研究所の資料室で活躍されていた堂面教授が社大に就任されるとともに、資料室の運営を指導されることになりました。

短大資料室には社会問題、社会福祉関連分野の専門的雑誌数百種と新聞、機関紙、パンフレットが定期刊行物として収録されています。不定期資料も寄贈、交換、購入によって収集され、その内容は社会福祉の専門分野に集中しているので、他大学、研究所の分類方法を参照、検討しつつ、昭和43年以来、社大資料室の独自分類により整理されています。

産業用ロボット隆盛の時代に、図書館機能のコンピューター化も必然の流れであり、社会福祉の分野でも相応の対応をすべきことは勿論ですが、しかしそれと平行して、この分野ではなお「手工業的」資料室活動が当分重要な位置をしめるでしょう。

社会福祉学における資料の重要性は、この学問が応用社会科学であり、総合の学問である上、実践科学でもあるという性格から、なま資料の収集・分析がまず必要である点にあります。またこの学問は若い学問分野であり、開拓的側面をもちますが、資料についてもその時々新しい対応が必要になってきます。この分野は行政とのかかわりも深く、国および地方自治体の機関が作成した通達類、官庁報告書

統計資料類にたえず目配りをし、系統的に収集活動をする必要があります。それに社会福祉の現場実践との結びつきも重要で、福祉関係施設、病院、関係団体などから刊行されている現場資料(ケース記録、処遇方法、処遇組織、財政運営等)の把握も必要であり、これら資料を組織的系統的に収集するとともに、内容分類をした二次文献資料を作成したり、研究活動を援助することも、今後、資料室活動の目的となるでしょう。

社会福祉学は、法学や経済学と較べて、学問の性質と学問発展の段階が異なるが故に、情報・資料の組織的提供が著しくおくれています。他大学や専門図書館との情報交換や分業体制も緒についたばかりであり、全国的組織的に二次文献資料の編集が行われる域にまで到っておりません。したがって資料室として他に代替、補足するものがほとんどありませんので、十分な資料の整備をしておかねばなりません。現段階で、資料の相互利用やスタッフの養成をする場合にも短大資料室は一定の役割を期待されています。

この春から社大図書館は学部図書室として府大図書館に統合され、それにとまって資料室は名称は変わるとしても、図書室の資料部門として位置づけられ、これまでの伝統を受け継ぎ、ともに一層の発展をはかることになるでしょう。(筆者：社会福祉学部教授)

学部図書室紹介

—社会福祉学部—

環境

地下鉄谷町線四天王寺前(夕陽丘)駅下車徒歩4分。ここが大阪の町中かと驚くほど緑と史跡の自然に恵まれた静かな上町台地の一面に、社会福祉学部夕陽丘学舎があります。

夕陽丘の地名の由来と伝えられている“契あれば難波の里に移り来て波の入日を拝みつるかな”と詠んだ鎌倉中期の歌人藤原家隆の塚を横に見て、細い坂道を下ると通用門があります。裏庭からは崖ひとつ隔てて大阪の夏祭りの口火を切る愛染さんの塔(重文)を目前に仰ぐことができます。

現在のこの図書館の建物は、大阪青年塾堂といわれた昭和11年時代のものをそのまま使用しています。現在教室棟の建っている場所の崖には滝があり、その滝に打たれて興国を担った青年婦女子が修業したということです。

図書室概要

さて、大阪青年塾堂の建物を転用したことで、図書館として使うには不便な構造となっています。

塾堂時代は講堂であった1階書庫は天井が高く9段の書架が並んでいて(184㎡)、この片隅に事務スペースをとっているため、夏は涼しいが冬は非常に寒い仕事場となっています。また大浴場であったという地下を書庫に改造し(75.9㎡)、手動式集密書架を入れております。閲覧室はこの様な立地条件のため2階に離れて設けざるを得ない状態です(74.5㎡)。この狭いながらの閲覧室を工夫して、指定図書、参考図書、社会福祉関係の利用度の高い図書、学生希望図書の読み物類などを開架して、閉架の不便を補ってきました。

資料室は別室(47.6㎡)でここも最高は12段の書架に製本雑誌等が収容され、満杯の状態です。

この様に図書館施設は分散せざるを得ない悪条件の中で、利用に不便をかけていますが、社会福祉関係の図書資料の充実とサービスでカバーしているつもりです。

図書資料

蔵書冊数は55,500冊（うち洋書は5,500冊、昭和57年2月末現在）、そのうち社会科学系図書が33,500冊（約6割）を占めています。

蔵書の特色は都道府県の社会事業史関係の古いものが多く、他府県からの利用も盛んです。中でも、“南條文庫”は大阪の社会事業史を学ぶ人にとっては貴重な文献となっています。

またここ数年、大阪の社会運動を研究する団体、個人研究者等外部の利用が非常に盛んな“長尾文書”は、大阪地方を中心とした労働機関紙等地方色豊かな社会主義運動を知ることのできる大切な資料です。

今までは大阪社会事業短期大学の図書館として社会福祉の関連分野だけでなく、蔵書構成を考慮した図書購入を考えてきましたが、社会福祉学部図書室となった現在では、専門分野の図書の収集が中心となり、専門図書館の趣が更に強くなるといえましょう。

資料室では、現在受入中の購入雑誌は和書82種、洋書49種で、寄贈の定期行物（機関紙等も含む）は775種（うち大学紀要は528種）です。不定期資料（パンフレット類も含む）は5,000点に及び、新聞（日刊紙を除く）は61種あります。

社会福祉分野では、現在進行形の現場の情報収集が特に要求されるため、地方自治体、各種関係機関等発行の一般流通していない原資料、報告書類の収集に力を入れています。

利用

開館時間は図書室が9:00am～5:00pm（土曜日は12:00pm）で、資料室は10:00am～4:00pm（土曜日は休業）です。帯出冊数及び期間は下記の表の通りです。

	冊数	期間
社会福祉学部教職員	100冊以内	1年以内
他学部教職員	30冊 "	3ヶ月 "
府立大学生	10冊 "	2週間 "
室長の許可を得た者	10冊 "	2週間 "

前記施設概要で説明した通り、現在の書庫ではそのまま開架できる状態ではなかったのですが、閲覧室に開架できる冊数が限られていること、閉架による利用疎外等を考慮して、昭和56年度に短大の2年生のみとなり学生数が半減したのを機に書庫解放の試行を試み、後期から実質書庫解放という形の開架に踏み切りました。

目録は、図書室には著者、書名、分類目録（和洋混排で訓令式ローマ字のABC順）資料室には不定期資料の書名目録（ヘボン式ローマ字のABC順）と、独自の社会福祉資料分類による分類目録を備えています。

以前は出納式貸出ということもありましたが、社大時代の学生は実によく目録を使いこなしてくれました。書庫は解放しましたが、効率的な文献探索のためには大いに目録を利用していただきたいと考えています。

レファレンスサービスも、関係図書に関することなど可能な限り努力してお手伝いしますので遠慮な

く申し出て下さい。

学生の購入希望図書に関しては、社会福祉関係図書の購入希望に応じられるようにしています。

又、図書室で取っている新聞5紙（朝日、毎日、読売、日経、赤旗）の福祉関係の記事をコピー、ファイルしてキーワードによりカード検索もできるようにしていますので、ご利用下さい。

月々に受け入れた図書の新着図書案内等も出しておりますので、図書室のP.R情報にもご注目下さい。昭和56年度から社会福祉学部が発足したとはいうものの、56年度は実質、社大の図書館として機能してきましたので、学部図書室としてはスタートラインについたばかりです。学部図書室として今後どのように充実発展させていくのか、府大キャンパスに移ってからの展望など、問題は山積しています。

ともかくにも、大阪社会事業短期大学図書館の歴史の中で積み重ねてきた良い面を生かし、今後よりよい学部図書室に発展していくよう、職員一同力を合わせていきたいと思っています。

著者目録について

欲しい図書を捜すのにまず学内での所在をカード目録で調べる方法があります。今回はその内著者目録について書いて見ました。著者目録には全学所蔵の図書カードが全て排列されています。

1. 何を著者目録に採用するか

図書に表示されているもののうち、当館では次のようなものを採用しています。

- その図書の著者（団体著者も含む）
- 訳者、注釈者、编者、校訂者などのように、その図書の著作に副次的に関与したもの
- 個人伝記、特定個人に関する研究書、団体の沿革・歴史を扱う図書、記念論文集などにおいて、その対象となっている人名・団体名

また、原則として監修者、監訳者などは、採用しませんが、著者、訳者、编者などが図書に表示されず、監修者、監訳者のみ表示されている時には、それを採用しています。

多巻もののうち、○○文庫、○○新書、○○文学全集、○○講座などで、各巻の著者が異なる場合はその著名を採り、全体の编者は採用していません。

2. 採用人数について

図書に著者（副次的な著者を含む）が、複数いる時には、一部省略をしています。すなわち、著者编者などの場合には、その数が2人だけの時には両方を採用していますが、3人以上の時には、標題紙などの表示の最初の、又は主な1名を採用します。訳者、注釈者、解説者などの副次的な著者は、上記と同様の方法で1名のみを採用します。

3. 人名について

日本人名は、その著者の読みの形をローマ字（ヘボン式）で表わしています。

例 夏目 漱石→Natsume Soseki
中国、朝鮮人名は、日本読み（漢字音）をローマ字で表わしています。

例 金 日成 Kin Nissei
郭 沫若 Kaku Matsujaku

西洋人名は、図書にカタカナで表示されている時でも、原綴りで表わしています。

例 シェークスピア→Shakespeare, William
プラトン →Platon

西洋人名の原綴りがわからないときは、参考図書室にある岩波西洋人名辞典などで調べて下さい。

ロシア人名は、ローマ字に翻字しています。

例 Ленин, Владимир Ильич → Lenin, Vladimir Il'ich

4. 団体名について

団体名の冒頭にあつて、その団体の法人組織、創立の趣旨等を表示する部分は省略した形を採用しています。

例 社団法人日本博物館協会→日本博物館協会

又、団体の内部組織は、その団体名を採用しています。

例 大蔵省関税局→大蔵省
日本山岳会東海支部→日本山岳会

団体名などの略語形は、完全な形にもどして採用しています。

例 NHK→日本放送協会
ILO→International Labor Organization

5. 排列について

人名は、まず姓によって排列し、同姓の場合はさらに、名前によって排列しています。西洋人名は、日本人名等と違って、名・姓の順で呼ばれていますので、姓・名の形に転置し排列しています。

例 Max Weber→Weber, Max

その外 M' Mc は Mac St. は Saint のように完全に書かれたものとして排列しています。

同一著者の著作は、第二次排列を書名のアルファベット順によつています。

なお、伝記や作家研究書などは、被伝者や作家名からも検索出来ます。これらのカードは、その人の著作の最後に排列していますので、利用して下さい。

以上著者目録について大まかな規則を書いて見ました。わからない事はどしどしカウンターで聞いて資料検索に役立てて下さい。
(整理係・閲覧係共)

自家薬籠中の図書館

1. 図書館利用の種々相

私事にわたって恐縮であるが、筆者は一昨年10月頃、突然の病に襲われたことがあった。就寝後の夜半、急性じんま疹によつて起こされ、小人閑居の身にあつては、近くの救急病院に駆けつけるほかなかつた。診察の結果、アレルギー症状であることが分かり、応急処置でようやく小康を得ることができた。しかし、その日は普段と変らない食事をとり、入浴しただけであつたから、原因は少しも思いあたらない。

アレルギーについて全く素人の筆者は、自分の健康状態を知るため、翌朝早速、附属図書館へアレルギー

ギーと名の付く本を捜しに行った。岩波新書と文庫クセジュとに同名の本を見付けることができた。それらによると、アレルギーとは、ある種の抗原と体内の抗体とが細胞中で反応し、遊離したヒスタミンが体液に混じり、拡張した血管から血清が組織中へにじみ出して腫脹を起こす過敏性現象を指すという。それが皮膚に起こればじんま疹となり、鼻では枯草熱やアレルギー性鼻炎となる。またヒスタミンは、気管支、胃腸管、膀胱の平滑筋を収縮させ、気管支ぜんそくの発作や胃腸管の疼痛症状を引き起こすなどのことが分かった。アレルギーの原因となる抗原は、食品・薬品・温熱・寒冷・物理的刺激・胃腸障害・過労あるいは空気中の物質など無数にあるようだ。運よく抗原が特定できれば脱感作療法もできるらしい。しかし、通常はなかなか判明しないため、考えられる抗原との接触を避けるなど、極めて消極的治療法しかないことも知られた。

ともあれ、筆者には晴天の霹靂のような病氣も数週間で平癒した。却ってその経験から上記の知識を得たおかげで、本年1月に再発した時は、少しもあわてることなく軽度のうちに乗り切ることができた。

これは、若干変則的な図書館の利用例かもしれないが、もともと図書館の利用法は個々人によってかなり異なっていてよからう。

2. 府大図書館

大学図書館の本義は、教育と研究とに役立つためにあるのは疑いない事実であるが、それらを側面的に支えるための役割も無視できないはずである。特に本学の附属図書館は、5学部の全学生・教職員が利用する場であるだけに、人文社会的・自然科学的あるいは一般常識的知識の宝庫であって欲しい。その願いは、大学人の教養を培うのに役立つものであって欲しいとの微衷にも通じる。この点、教養と呼ぶには大袈裟であるが、上記の極めて個人的な欲求にも附属図書館はよく応えてくれたわけである。

さりとて、附属図書館に全然不満がないというわけではない。本誌第5号(1979年9月)に武者宗一郎先生が「断食考」を寄稿されたことがあった。先生の断食健康法については、以前より学内の話題になっていたようである。それでもその寄稿文によって、比較的身近かに断食道を実践されている人を知った読者も少なくなからう。断食に興味をもった読者が、図書館の関係図書から基礎知識を得ようとしても、残念ながら当時の附属図書館には一冊も断食に関する本はなかった。

上記の体験からいえば、本誌には毎号先生方による種々の話題が提供されているので、せめてそれに関する書籍の一冊は是非揃えておいていただきたい。もちろん、話題の主直接お尋ねするのが早道かもしれない。しかし府大に集う多くの人々の教養に資するには、教育・研究に必要と考えられる書物のほか、府大図書館独自の選択眼による典籍の充実を期待する。そのためには、図書館利用者が推薦図書システムの活用には躊躇してはならないと思う。

わが国の図書刊行数が他国より群を抜いていることは同慶の至りとしても、その質が問われていることについては、誰もが認識を新たにする必要があろう。図書館がどのような本を収集するかは、一にかかって利用者自身にある。「図書館は作られるものではない。生長するものだ」(オーガスチン・ピレル著『折にふれて』第2巻)の至言が思い出される。そうして図書館の府大らしさにも磨きがかかれば、府大も一層輝きを増すに違いない。

3. 学術文献の収集

大学図書館本来の使命である学術文献の収集については、そんなに不便を感じることはない。しかも学術領域を研究する者にとり、総合大学の図書館は非常に便利である。筆者も、工学部内の他学科の図書室はもちろん、経済・農学・教養など多くの図書室を利用している。ただ、各研究室に置かれている

図書は、その部屋の誰かが居ないと見ることすらできない場合がある。このような不便を緩和するため何とか知恵を絞って改善していただきたいと思う。折角府大にあることが分かっているながら、利用できないのは誠に残念である。

たいていの学術雑誌や専門書は、府大のどこかに見出すことができるが、それでもしばしば府大にないものもある。それらの研究論文なり記載事項を知るには、原著者に手紙を書くか、他の図書館に文献複写を依頼するかなどの方法がある。このようにして“窮すれば通ず”の俚諺にも、度々思い当たることがある。現にある外国の著者は、こちらの再三の請求に根負けしたのか、ある日関連する多くの文献を含めてダンボール1箱の参考文献を送ってくれた。タダでは申し訳ないと思い問い合わせると、船便だから送料も要らないとのことであった。むろん、すべてがこうした親切な方ばかりとは限らないが、概してこちらの期待以上の親切に出会い、友達方にありの感慨を深くした例もあった。すなわち無作法な手紙が機縁となって、国際会議の折、貴重なアドバイスをもらいありがたい思いを味わったことさえある。

しかし古い文献を必要とするとき、手紙を出したくとも、著者の所属や住所が分からない場合もままある。その際、海外のレファレンスブックが参考になる。本学図書館にも、それらはある程度揃えられているものの、中には古くなった資料も含まれている。この点、毎年出版されている各種の団体便覧や人名録を継続的に整備されることを願っている。それは、アメリカの研究者ならアメリカン・センターでおおよその見当は付くが、他の国ではなかなかそうはいかないからである。

所望の文献がかなり古い場合や著者が既に第一線を退いている場合は、他大学の図書館を利用することになる。同じ雑誌を幾つかの図書館で蔵書しているなら、比較的地方の図書館の方が複写手続きは早いようである。これに関するノウハウは、工学部図書室に負うところが大きい。

4. 附属図書館への望蜀の思い

「読書は単に知識の材料を供給するのみ、それを自家のものとなすは思索の力なり」(ジョン・ロック)の言をまつまでもなく、図書館には知識材料を豊富にもつ役割があるはずと思う。それは、思索の触媒となる情報は多いに越したことがないからである。そのような図書館を救急箱代りでなく、本当に自家菜籠中のものにできれば、もう何もいうことはない。
(筆者：工学部院生 細野泰彦)

教官文庫リスト

寄贈者氏名	書 名 卷	山 版 社	出 版 年
岡 本 武 之	雇用と分配のマクロ経済学	有 斐 閣	1981
小 室 豊 充(共)	現代社会福祉叢書4 福祉改革の思想と課題	新 評 論	〃
河 合 敏 行	剣道 相对一心流	(株)タイムス	〃

指定図書リスト
— 追補 —

1979年度指定

工学部

電子工学 第4講座

Structure, form & movement, by
Heinrich Hertel. Van Nos
Reinhold, 1966 (538.1/14)

農学部

農芸農学科 造園学

植物の生産過程測定法 牛島忠広〔ほか〕著
共立出版 1981 (468/30)

総合科学部

外国語 英語1

The Holy Bible; containing the Old and
New Testaments. New York, American
Bible Society, [n. d.] (193/15)

1980年度指定

工学部

数理工学科 第5講座

Quantum mechanics, by Leonard I.
Schiff. 3rd. ed. McGraw-Hill, 1968
(421.3/14)

化学工学科 共通

Introduction to chemical engineering,
by Edward V. Thompson and
William H. Checkler. International
student ed. McGraw-Hill 好学社,
1977
(571/16)

船舶工学科 共通

新しい造船学：造船学会夏季講座 第7回
日本造船学会 1981 (550/7)

会 議 (学外)

• 近畿地区国公立大学図書館協議会

1月27日(水) 参考図書に関する委員会 於京都大学

• 公立大学協会図書館協議会

1月27日(水) 公立大学図書館間相互協力推進委員会 於奈良県立医大

2月26日(金) 近畿・中国・四国地区協議会総会 於平安会館

カウンター

から

1. 図書閲覧票を大切に……

- イ. 図書閲覧票の交付は、「図書閲覧票請求書」に記入し、学生証を添えて申しでるとその場で受けられます。
- ロ. 図書閲覧票は、「学生証」と同様大切に扱ってください。(在籍中有効です)
- ハ. 図書閲覧票は、館内で図書・資料を利用するときも必要です。常に所持してください。
- ニ. 図書閲覧票は、本人以外使用はできません。
- ホ. 図書閲覧票を万一紛失したときは、直ちに届けると同時にあなたの身辺をもう一度見直してください。(再発行は即日にはできません)

2. 「図書持込票」は、こんなときに……

館内閲覧・館外貸出等の利用手続きが了った図書又は、自分の本を開架閲覧室へ持ちこまないでください。止むを得ず持ちこむ場合、カウンターの上にある「図書持込票」を本にはさんで入室し、退室のときその図書を係員に提示して「図書持込票」を返してください。

3. 新着雑誌の利用について

- イ. 館外帯出はできません。
- ロ. 利用後は、速やかに元の位置に戻してください。
- ハ. 無断持ちだしは、絶対にしないでください。他の利用者が迷惑します。
※バックナンバーを利用したい時は、カウンターへ申しでてください。

4. 「文献の複写」は生協コピー・コーナーで……

辞典・便覧・ハンドブック・新着雑誌などの禁帯出図書の一部を複写したい場合は、カウンターで「一時帯出票」に記入し、「閲覧票」又は「学生証」を添えて提出してください。「複写」は生協のコピー・コーナーを利用してください。又 利用後は速やかに返却してください。なお、文献の複写に際して著作権に関わる責任は持ちません。

大阪府立大学附属図書館館報「**図書館だより**」第12号
発行日 昭和57年3月31日発行
発行所 大阪府立大学附属図書館
堺市百舌鳥梅町4丁804 〒591 電話 代表(0722)52-1161